

平成21年度事務事業評価シート

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 公共施設の配置計画 (2) 民間活力の導入 (3) 事業化に向けての実施体制
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 博物館、美術館両検討委員会の検討結果を踏まえ、施設全体の配置計画及び諸室の配置計画等の検討を進め、一定の方向性を見出した。 (2) 地区計画による市街化調整区域の規制緩和や民間機能の配置計画等と条件を見直したなかで、民間事業者に対し、再ヒアリングを実施し、民間機能参入の可能性について、概ね良好な手ごたえを得た。 (3) (仮称)鎌倉博物館、(仮称)鎌倉美術館の施設整備にあたっては、学芸員等の専門職を含めた体制づくりが必要なことから、「開設準備室」設置の検討及び人事担当部局に対し、学芸員の配置の要望を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 公共施設の面積拡大に伴う、事業費の増大という課題が残った。 (2) 財政状況が厳しくなるなかで、民間活力の導入も視野に入れた最適な事業手法の検討が必要である。 (3) 事業化に向けての実施体制の強化が必要である。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)(2) 施設整備における民間資金・民間活力の活用を探るため、民間活力導入可能性調査を実施し、最適な事業手法等の見極めを行う。また、各分野の専門家に助言、指導を仰ぎながら検討を進める。 (3) 学芸員等を含めた「開設準備室」の設置の検討を進めるとともに、人事担当部局に対し、再度、学芸員の配置の要望を行う。また、庁内の合意形成を図るため庁内検討会を立ち上げ、検討を進める。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	寄贈を受けて依頼、市民からの意見を踏まえながら跡地の活用について検討を重ねてきており、民間参入による相乗効果や財政負担の軽減を目指しながら、今後も積極的に推進していく。 なお、両検討委員会からの指摘も踏まえ、開設準備室の設置や学芸員の配置については喫緊の課題である。				
担当課長氏名:		文化・教養施設整備担当担当課長 梅原 秀晃			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	これまで懸案であった博物館、美術館の整備を具体化する事業であり、世界遺産登録推進に向けても必要とされる施設であるため、積極的に推進していかなければならない。 施設整備の検討にあたっては、専門家の助言、指導を求めるとともに、庁内検討会を立ち上げ、進めていく必要がある。				
担当部名	生涯学習推進担当	部長名	金川 剛文		